

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.246

発行日 2023年10月9日

発行所

一般社団法人

教育システム情報学会

発行者 小松川 浩

〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <https://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org



第48回 全国大会開催報告	2	研究会報告年間購読案内	20
第48回 全国大会奨励賞審査結果	3	支部活動報告	21
第48回 全国大会		北海道支部, 関東支部, 中国支部	
学生特別セッション参加報告	4	広報からのお知らせ	24
第49回 全国大会のご案内	8	他団体 協賛・後援イベントのお知らせ	25
第4回 研究会開催案内	9	国際会議のご案内	26
第5回 研究会講演募集	12	会費納入のお願い	28
学生研究発表会発表募集	14	事務局より	30
博士論文紹介募集	15	会員専用ページの案内,	
特集号論文募集	16	入会のご案内,	
合同英文誌 ITEL 論文募集	18	新入会員のご紹介	
研究会開催年間スケジュール	19		





第 48 回 全国大会 開催報告

担当者：全国大会委員会 委員長 小尻智子（関西大学）

2023年8月29日（火）から31日（木）までの期間、教育システム情報学会全国大会を近畿大学とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。まず、素晴らしい大会運営をしていただきました近畿大学の井口先生、越智先生をはじめとする現地実行委員の皆様、そして4年ぶりのフルプログラムを試行錯誤しながら企画・運営して下さった大会委員の皆様にご心より感謝申し上げます。また、プレカンファレンスや企画セッションなどの企画をオーガナイズして大会を盛り上げて下さった皆様、ご登壇いただきました皆様、座長をお引き受けいただきました皆様、そして大会に参加いただきました皆様にご心よりお礼を申し上げます。

本大会では4年ぶりに懇親会や現地企画が開催され、フルプログラムでの開催となりました。それに加え、プレカンファレンスが8つ実施されたり、企業展示に12社に参加していただいたりと、充実したプログラムとなりました。大会参加者は416名で、そのうち現地参加者は322名、懇親会には151名の方が集まりました。

今年は開催校の近畿大学情報学部の特徴が反映された学会になりました。特にオープニングや基調講演、メインシンポジウムなどのメインイベントを開催したオンデマンドサロンは、カフェのように配置されたテーブルの中心にステージが配置されているオープンな空間で、ステージの360度すべてに聴衆者がおり、かつ聴衆者との距離が非常に近い独特な場でした。最初はどこを向いて話せばよいか戸惑う登壇者もいましたが、慣れてくると聴衆とのやりとりをしながら講演をするなど、例年の舞台でのイベントとは異なり、インタラクティブでアットホームな雰囲気となりました。

近畿大学の特徴はこれだけではなく、企業展示をまわって集めるスタンプラリーでは、近畿大学産のグルメが景品となりました。また、最終日の現地企画では、esportsと教育についての意見交換がなされた後、近畿大学のesports専用の施設esports Arenaの見学会が実施され、近畿大学の充実した施設を体感することのできる企画となりました。

さて、本大会のテーマはXRがキーワードであり、メインイベントではXRを用いた教育・学習環境に本学会がどのように貢献できるかを探っていくことを目的としたシンポジウムが実施されました。メタバースを運営しているクラスター株式会社の加藤様、XRを対象としたHCI研究者の東京大学の鳴海先生、VR・ARの教育応用を実践しているフィール・フィジックス社の植田先生をお招きし、XRで可能となったこと、XR空間で目指すことについて議論しました。特に指定討論者の電気通信大学の柏原先生と香川大学の後藤田先生からの質問は鋭く、見ごたえのある議論となりました。

来年は学会設立50周年となります。千葉県のみ海大学にて開催いたします全国大会は50周年を祝う盛大な会にできればと思っています。来年も多くの方のご参加をお待ちしています。



第 48 回 全国大会奨励賞 審査結果

担当者： 大会奨励賞審査委員会

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員(入会申請中を含む)であって、40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文 61 件(口頭発表の部：49 件、インタラクティブ発表の部：12 件) から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

(以下は講演番号、発表題目、著者(○は受賞者)、所属の順)

<口頭発表の部>

E2-4 プログラムトレース課題を自動生成するシステムを用いたトレース学習の実現可能性に関する調査

○茂木誠拓(1)、立岩佑一郎(2)、東本崇仁(3)、赤倉貴子(4)【(1)千葉工業大学大学院、(2)名古屋工業大学大学院、(3)千葉工業大学、(4)東京理科大学】

A5-2 ARを用いた協調的作問学習支援システムの設計・開発

○小代翔大(1)、山元翔(1)、平嶋宗(2)【(1)近畿大学、(2)広島大学大学院】

A5-3 数理モデルを応用した戦術学習支援システム設計の検討

○竹内寛典、小野健太郎、松浦健二、上田哲史【徳島大学】

<インタラクティブ発表の部>

SP-01 読解対象文の難易度を考慮した読解問題自動生成手法

○富川雄斗、宇都雅輝【電気通信大学】

以上 4 件



第 48 回 全国大会 学生特別セッション 参加報告

担当者： 人材育成委員会

本学会は若手研究者の育成に力を入れており、全国大会に「学生研究特別セッション」を設けています。これは、学生研究発表会の優秀発表賞受賞者と地区代表者に全国大会で発表していただく場として企画されたものです。全国大会で発表する優秀発表者および地区代表者は、「全国大会優待」として全国大会参加費と学生特別セッション分の論文掲載費が免除されます。

昨年度の学生研究発表会は全国 8 地区において開催され、優秀発表賞・優秀ポスター発表賞・地区代表者として計 31 名が選ばれました。2023 年度全国大会ではそのうち 15 名が学生特別セッションで発表（学生研究発表会の論文が大会論文集に再掲）、1 名は一般セッションでも発表しました。全国大会はハイブリッド開催となりましたが、学生特別セッションは対面のみでの実施となりました。

以下に、全国大会優待利用者の大会参加報告を掲載します。

この度の全国大会への参加と研究発表の機会、心から感謝申し上げます。対面形式のインタラクティブ発表は私にとって初めての経験で、最初は緊張しましたが、多くの方々から貴重な意見や質問をいただき、非常に有益な時間を過ごしました。特に、私が作成したシステム（MR を用いたネットワーク学習教材）を実際に使用していただき、コメントをいただけたことは、対面での発表ならではの貴重な経験で、大変参考になりました。この全国大会は私の成長にとって極めて重要な機会であり、今後もさらなる発展を目指して努力いたします。最後に、この素晴らしい機会を提供していただいた大会関係者の皆様に心から感謝いたします。

（公立千歳科学技術大学大学院 修士 1 年 豊崎 駿佑）

この度は、全国大会への参加という貴重な機会をご提供いただき、誠にありがとうございました。対面でのポスターセッションはほとんど経験したことがなかったため、緊張や不安などさまざまな想いで溢れていましたが、現地ではたくさんの方々に聞いていただけただけでなく、意見や質問などを貰うことができ、大変有意義な時間となりました。今回得た経験を研究活動等に活かしていきたいと考えております。最後に、指導してくれた先生方、ならびに全国大会の運営の皆様には感謝を申し上げます。

（公立千歳科学技術大学大学院 修士 1 年 藤島 美空）

この度は、全国大会での発表という貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。インタラクティブ発表では多くの方々と意見交換をする事ができ、たくさんの方々の刺激を得る事ができました。また、研究を進める上で重要なご指摘も頂きましたので、大変有意義な時間を過ごす事ができたと感じています。今回の経験を活かして今後も研究に励み、社会へ貢献していきたいと考えています。最後に、本大会の関係者の皆様に感謝を申し上げます。

（電気通信大学大学院 修士 1 年 富川 雄斗）

この度は、全国大会での発表という貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。本学会では特に、ポスターを使った対話形式の発表が、これまでの人生にない経験となりました。発表準備では、研究内容を簡潔にまとめるという作業の大変さを痛感しましたが、物事を抽象化する能力が、若干ではあります。養われたように感じます。また、口頭発表ではなかなか難しい対話形式での議論により、自身の研究内容について不足なく知っていただけたこと、今後の研究方針を先生方や学生方と論ずることができたことは、非常に貴重な経験となりました。今後は本学会で得たことを研究結果として昇華できるよう邁進する所存です。

(信州大学大学院 修士1年 浅井 雄大)

この度、JSiSE 全国大会において発表の機会をいただき、誠にありがとうございました。様々な分野でご活躍されている先生方や学生の方々に、多くの質問やコメントをいただき、大変勉強になりました。また多くの方々に自身の研究への興味を持っていただき、さらに研究への意欲向上に繋がりました。この3日間、新しい学びの連続でとても有意義な時間を過ごすことができました。この経験を活かし、研究のさらなる発展に取り組んでいきたいと思えます。最後になりますが、大会運営、本研究にご協力頂いた皆様をはじめ、本大会に関わられた皆様に心より感謝申し上げます。

(信州大学大学院 修士1年 立花 柁樹)

この度は、全国大会で発表する機会をいただきありがとうございました。インタラクティブセッションでのポスター発表では、たくさんの意見や感想、ご指摘をいただくことができました。その中で自身の研究の新規性や面白さ、課題などを再確認する貴重な機会になり、研究に対するモチベーションがさらに高まりました。これからもより一層、研究に励みたいと思えます。最後になりますが、指導して下さった先生方、大会を開催して下さった関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

(早稲田大学 修士2年 篠原 洸一)

この度は、全国大会への参加という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。自分自身インタラクティブ発表は未経験だったこともあり、期待と不安の入り混じったような気持ちで臨んだ本大会となりましたが、多くの先生方から貴重なご意見やご質問をいただくことができ、大変有意義な時間となりました。先生方や他の学生の方との交流によって刺激を受けると共に、自身の研究の改善点を認識することができ、本大会での経験を今後の研究活動に活かしていきたいと感じました。最後に、本大会の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

(名古屋大学大学院 修士1年 高田 知樹)

この度は、全国大会での発表という貴重な経験をさせていただきありがとうございました。全国大会での発表は、地区大会の際よりも緊張した一方で多くのひとから質問や意見をいただきました。いただいた意見では、私が思いつかなかった新たな視点からアドバイスがあり、今後の研究の進展に深く影響してくると思っています。また対面で発表を実施できたからこそ色々な人の意見を聞くための交流ができたため、難しい状況にも関わらず対面で全国大会を実施していただいた今大会の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

(大阪工業大学 4年生 浅井 良輝)

今回、全国大会にて発表をさせていただき、初めてインタラクティブ形式での発表を経験しました。壇上に立つ発表とは違い、聞きに来ていただいた方々とお話ししながら説明をし、質問があれば答えるというスタイルのため、来ていただいた方との距離がより近く感じ、楽しく発表できました。あまり緊張せずに説明ができたため、自分はこの形式の方が得意であると感じ、機会があれば是非またこのような場で発表をしてみたいと考えています。また、CEFRをご存じの方や、実際に現場で使っている方も来てくださり、コメントいただけたことに非常に感動しました。是非今後の研究における新たな視点とさせていただきたいと考えております。

(静岡大学大学院 修士1年 里見 陸)

この度は、学生研究発表会に引き続き、全国大会参加という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。学生研究特別セッションでは、自身の研究に興味を持ってくださった方々と、新規性や更なる発展に向けた改善点などについて意見を交換することができ、とても充実した70分間となりました。一般セッションにおいては、興味のある分野の発表を拝聴し、新しい学習・教育の可能性について知ることができました。今大会で得られたアドバイスや知見を活かして、今後も研究に取り組んでいきたいと思っております。最後に、本大会の運営を始め、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(大阪府立大学 4回生 杉野 菜月)

この度は、全国大会での発表という貴重な機会をいただきありがとうございました。今まで研究発表はオンライン参加のみだったため、大会での対面のインタラクティブ発表は、初めての経験となりました。今回の大会では様々な分野の先生方と直接交流をし、貴重なご意見をたくさんいただくことができました。先生方との交流を通して、今までとは違った考え方を知る良い機会となり、有意義な時間を過ごすことができました。今後は頂いたご意見を活かして研究に取り組んでいきたいと考えております。最後に発表の機会を下された大会運営の皆様、本研究に関わってくださった皆様に厚くお礼申し上げます。

(和歌山大学大学院 修士1年 松本 隆誠)

この度は学生研究発表会に引き続き全国大会で貴重な機会をありがとうございました。本大会のポスター発表で多数の貴重な意見を頂いたこと、大変今後の為になりました。日ごろから、校内発表で他分野を専攻している教授から意見を頂いていますが、それとはまた異なり、より核心的で的を射た意見や、これまで考えていた事とは全く別の切り口の意見を得られたことが非常に良かったと思っております。今回賜った意見を今後の研究に生かしていきます。最後に、今大会の関係者の皆様方に感謝を申し上げます。

(和歌山大学大学院 修士1年 若狭 成宗)

この度は全国大会での発表という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。これまでの学会発表はすべてオンラインだったため、今回初めての対面形式ということで緊張しておりましたが、全国各地の先生方、学生の方々から貴重なご意見やご指摘をいただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。今回いただいた意見を活かし、今後も研究活動に励んでいきたいと思っております。最後に、指導教員をはじめ本発表にかかわってくださった皆様、本大会の運営関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(徳島大学大学院 修士2年 大江 海斗)

この度は学生研究発表会に引き続き、全国大会への参加という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。初めての経験であったためとても緊張していましたが、セッション内や懇親会において様々な分野で活躍されている先生方から貴重なご意見をいただき有意義な時間を過ごすことができました。本大会での経験を活かし、より一層精進してまいります。最後になりますが本大会の運営の方をはじめとしたスタッフの方々、質問をいただいた皆様に御礼申し上げます。

(熊本県立大学 学部4年 佐藤 錬)

人材育成委員会では、学生研究発表会、全国大会学生研究特別セッションを継続していくとともに、今後も若手育成を活性化させる企画を検討していきます。



第 49 回 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

学会創立 50 周年にあたる 2024 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

開催日 (予定) : 2024 年 8 月 28 日 (水) ~ 8 月 30 日 (金)

開催場所 (予定) : 明海大学 (浦安キャンパス)

<https://www.meikai.ac.jp/>

是非ご参加をご検討ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<https://www.meikai.ac.jp/access/>



2023 年度 第 4 回研究会 開催案内

担当者：小尻智子，長谷川忍，柏原昭博，曾我真人，松浦健二（研究会委員会）

■ テーマ：

多様なスキルの開発を支える学習デザインとその支援技術／一般

■ 開催日時：

2023 年 11 月 12 日(日)

■ 開催場所：

香川大学 情報メディアセンター 1F コモンズスペース

香川県高松市幸町 2 番 1 号

アクセス

<https://www.itc.kagawa-u.ac.jp/access/>

■ 発表申込締切：

2023 年 9 月 21 日（木）

■ 原稿提出締切：

2023 年 10 月 11 日（水）【延長いたしません】

■ 趣旨：

本年度第 4 回研究会は「多様なスキルの開発を支える学習デザインとその支援技術」のテーマで実施いたします。

本研究会ではこれまで、スキルを対象としたテーマで継続的に研究会を実施してきており、動作や技能、スポーツなどに代表される身体スキル、経験知やメタ認知などを対象とした認知スキルなどの多様なスキルを対象に、学習デザインやその支援技術について議論してきました。スキルは暗黙的な活動であり、対象領域固有の知識や学習方法論が必要な場合もあり、その効率的・効果的な習得にはまだ多くの支援の可能性ががあります。

一方で、スキル学習支援の発展には情報技術による寄与も大きく、新しい情報技術の開発に伴って様々な学習デザインが提案されてきました。特に、Kinect などの安価なモーションキャプチャ装置やセンサは、身体スキルのパフォーマンスの評価やそれに伴った身体スキルの学習環境を大きく変化させました。また、近年の VR 技術やロボットの普及も、新しいインタラクションを伴った学習方法論を生み出しています。XR 技術や生成系 AI などの近年の目覚ましい技術の発展により、新たな可能性をもたらす学習環境や学習方法論の実現が期待されます。

本研究会では、スキルの学習デザインと、新しい情報技術を含むその支援技術について広く深く議論したいと思います。

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）です。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円/年）または各回の研究報告の購入（1,000 円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。Zoom 開催の場合のアクセス先は、参加申込時に送信されるメールに記載されます。

○ 発表者

発表申込および原稿提出は、下記「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 10 月 12 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○ 聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○ 上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 10 月 12 日 9 時に開始します。開始時刻以降に、下記「申込者ログイン」から手続きしてください。クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 11 月 4 日まで選ぶことができますが、支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので、必ずご確認をお願いいたします。

申込者ログイン：<https://iap-jp.org/jsise/course1/login.php>

○ 現地での参加申込

当日の受付での参加申込は行いません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。クレジットカード払いの場合は、当日の事前参加申込も可能です。

■ 研究報告執筆フォーマット：

原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。

- ・研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・研究報告見本：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>

- ・ 研究報告ひな形: <https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>
- ・ 講演申込・原稿投稿方法: <https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先:

小尻智子 (関西大学システム理工学部) (第 4 回研究会担当委員)

E-mail : [kojiri\[at\]kansai-u.ac.jp](mailto:kojiri[at]kansai-u.ac.jp) (「_at_」は, 半角の「@」に変更してください)



2023 年度 第 5 回研究会 講演募集

担当者：鷹野 孝典，佐々木 整，三石 大，高木 正則，光原 弘幸（研究会委員会）

■ テーマ：

教育 DX と実世界指向学習環境／一般

■ 開催日時：

2024 年 1 月 20 日（土）

■ 開催場所：

拓殖大学 文京キャンパス

<https://www.takushoku-u.ac.jp/access.html>

■ 趣旨：

本年度第 5 回研究会は「教育 DX と実世界指向学習環境／一般」のテーマで実施いたします。携帯情報端末や高速無線通信，存在感を有して知的に振る舞うロボット，身の回りの様々なモノをコンピューティングの対象とする IoT，実世界と仮想世界を融合した学習環境を提供する MR/VR/AR など，新しい教育学習環境を切り拓く技術が次々と社会に浸透しており，このような新技術は教育学習環境を大きく変えようとしています。

また，世界的なコロナ禍の影響で，教育学習環境のオンライン化が一気に加速し，教育現場における DX への関心が急速に高まっています。このような学び方や教え方のパラダイムシフトの必要性や可能性を実感する一方で，実際にその場に訪れ，人やモノと接することでしか得られない学びを提供する実世界指向の教育学習環境の重要性も指摘されています。

こうした教育学習環境の急速な変化を踏まえ，第 5 回研究会では「教育 DX と実世界指向学習環境」について，そのための教授設計も含め，システム・基礎技術の開発，実践，ならびに，新しい教育・学習手法に関する研究発表を募集し，共に考える議論の場としたいと考えています。なお，本テーマに関わらず幅広く一般の研究発表につきましても併せて募集しますので，多くの皆様からのご発表のお申込みをお待ちしております。

■ 発表申込締切：

2023 年 11 月 23 日（木）【延長いたしません】

■ 原稿提出締切：

2023 年 12 月 14 日（木）【延長いたしません】

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4000 円/年）または，各回の研究報告の購入（1000 円/回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

発表申込および原稿提出は，学会ホームページ（https://www.jsise.org/society_research/）よりお願いします。

また，事前参加申込（研究報告の購入）の開始は 12 月 15 日(木)を予定しております。学会ホームページ（https://www.jsise.org/society_research/）でご確認をお願いいたします。

■ 研究報告執筆フォーマット：

原稿の執筆・投稿にあたっては，以下のページをご確認ください。

- ・ 研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・ 研究報告見本：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>
- ・ 研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>
- ・ 講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先：

神奈川工科大学 鷹野 孝典（第 5 回研究会担当委員）

E-mail：[jsise-sig-5th\[at mark\]googlegroups.com](mailto:jsise-sig-5th@mark.googlegroups.com)（「_at_」は，半角の「@」に変更してください）



学生研究発表会発表募集（第1報）

担当者： 人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を開催する予定です。開催方式を含め、スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、今後、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております。

申込み期限は1月下旬、発表原稿提出は2月はじめを予定しております。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2024年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 41, No. 3につきましては、【2024年4月19日(金)】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。

執筆に際しては、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートをご利用ください。原稿および必要事項の提出に関してはGoogleフォームを用いて行うようにいたします。下記URLよりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2024年4月19日(金)（予定）
学会誌掲載： 学会誌Vol. 41, No. 3, 2024年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：

<https://docs.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBLk3rinKqe7Qsc>

原稿提出（Googleフォーム）：

<https://forms.gle/s6apsfhhxetLsvRJ9>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 林 佑樹（大阪公立大学）

E-mail: hayapy@omu.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2025 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

論文投稿締切：2024 年 6 月 1 日（土）（予定）

2025 年 4 月 1 日 発行（予定）

2020 年 3 月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの教育機関で遠隔・オンライン教育が実施されました。同時に、学習管理システム（LMS）や e ポートフォリオの利用が進み、講義資料の閲覧履歴や小テストの解答履歴、レポート等の成果物に加え、講義中の映像や発話情報などのマルチモーダルな教育・学習データも蓄積されるようになりました。また、近年では、学習中の生体情報も比較的容易に取得できるようになり、これらの多種多様かつ膨大な教育・学習データを LRS (Learning Record Store) で一元管理し、学習者のために活用しようとする機運が高まっています。そこで、本特集号では、教育や学習の過程で収集されたデータを利用した学習者中心の教育・学習の支援に関する先進的な取り組みに関する論文を広く募集します。

1. 対象分野

学習記録データ等の収集、蓄積、分析、可視化に関する技術、学習記録データ等の分析結果に基づいた教育・学習の実践に関する研究、生体情報を教育・学習支援に応用した研究等を広く募集します。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただきます。また、特集論文研究会（2024 年 3 月中旬開催予定）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2024年6月1日(土) 【予定】
採録通知予定： 2024年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 42, No. 2, 2025年4月1日発行 【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。
詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

5. 特集号編集委員会

委員長： 松浦 健二(徳島大学)
副委員長： 後藤田 中(香川大学)
筆頭幹事： 高木 正則(電気通信大学)
幹 事： 近藤 伸彦(東京都立大学)， 山元 翔(近畿大学)，
林 佑樹(大阪公立大学)， 山崎 治(千葉工業大学)
幹事補佐： 太田 光一(北陸先端科学技術大学院大学)，
吉原 和明(近畿大学)
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 高木 正則(電気通信大学) E-mail: takagi-m@uec.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



2023 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2023 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (https://www.jsise.org/society_research/) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の变革・リスクリソグ／ ヘルスケア分野の DX 人材 育成／一般	終了	早稲田大学 早稲 田キャンパス (現 地, またはハイブ リッド)	終了	終了
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	終了	北星学園大学	終了	終了
第 3 回	先進的演習・実習支援環 境／一般	9 月 30 日 (土)	静岡大学浜松キャ ンパス	終了	終了
第 4 回	多様なスキルの開発を支 える学習デザインとその 支援技術／一般	11 月 12 日 (日)	香川大学	2023 年 9 月 21 日 (木)	2023 年 10 月 11 日 (水)
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	2024 年 1 月 20 日 (土)	拓殖大学 (文京キ ャンパス)	2023 年 11 月 23 日 (木)	2023 年 12 月 14 日 (木)
第 6 回	実社会や他校種との接続 を意識したデータサイエ ンス教育／一般	2024 年 3 月中を予定	山口大学 (ハイブ リッド) 【オンラ インに変更の可能 性あり】	未定	未定
特集	未定	2024 年 3 月中を予定	山口大学 (ハイブ リッド) 【オンラ インに変更の可能 性あり】	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円（定例研究会年6回，特集研究会1回，計7回分を含む）
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究会報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

北海道支部より活動報告

訃報（岡部成玄先生）

担当者： 教育システム情報学会 北海道支部

本学会名誉会員 岡部成玄先生（北海道大学名誉教授）が、令和5年8月25日にご逝去されました。

岡部先生は、北海道支部立ち上げにご尽力いただくとともに、2012年の立ち上げ時から2017年6月まで、北海道支部の支部長としてご活躍され、北海道地区会員の研究交流と研究の活性化に多大なご貢献をいただきました。

また岡部先生は、2009年より本学会の評議員、2011年より2017年まで理事を務められ、特に、2010年に北海道大学で開催された全国大会では全国大会責任者として大会を成功に導くなど、学会へのご貢献も顕著であります。

岡部先生の北海道支部ならびに本学会へのご功労に深く感謝をいたし、ご冥福をお祈りいたします。

北海道支部役員一同

関東支部より活動報告

第5回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 関東支部

昨年度に引き続き、関東支部主催にて連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。今年度も学生の皆さまに自身の研究の魅力を再発見していただくための企画です。

学外の研究者・学生との議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見して、あなたの研究をもっと伸ばしてみませんか？

開催日時：11月18日（土）11:00～18:00（予定）

場所：電気通信大学（ハイブリッド）

対象：他大学の方々との交流を通じて自身の研究を見つめ直したい学生

※ 関東・東北地区以外の学生の方の参加も大歓迎です。

※ 聴講はどなたでも可能です。

参加費：無料

<プログラム>

第1部：ベテラン研究者からの熱いメッセージ

基調講演：渡辺博芳先生（電気通信大学）

第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究紹介

自身の研究の魅力を参加者に伝えよう

伝え方は自由（PowerPoint・ポスター・口頭のみ）中間発表などで使ったものを流用しても

OK！

事前の発表原稿提出も不要です

参加者とのディスカッション

学外の研究者・学生との建設的な議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見しよう

発表をご希望の方は10/28(土)まで、聴講をご希望の方は11/11(土)までに下記URLよりご登録下さい。

発表をご希望の方： <https://bit.ly/rcococo2023>

聴講をご希望の方： <https://bit.ly/rcococo2023-audit>

中国支部より活動報告

JSiSE 中国支部研究発表会発表募集

担当者：教育システム情報学会 中国支部

12月2日（土）に、岡山理科大学及びオンラインで、今年度 JSiSE 中国支部研究発表会を開催いたします。たくさんのご発表・ご参加をお待ちしております。

JSiSE 中国支部 2023 年度研究発表会

[期日]：12月2日（土）

[会場]：岡山理科大学及びオンライン

[実行委員長]：三宅新二先生（岡山理科大学）

[発表申込締切]：10月13日（金）

以下の情報をご連絡ください。

- ・発表タイトル
- ・著者(所属)，…，著者(所属)
- ・著者連絡先：

氏名：

電話番号：

メールアドレス：

[原稿提出締切]：11月10日（金）

[原稿執筆要領]

- ・原稿は、学会研究会報告執筆要領(<https://www.jsise.org/society/format.html>)に準拠します。原稿ファイルは、支部研究発表原稿書式をご利用下さい。
- ・原稿は、ページ数を記入せず、Word ファイルと PDF ファイルを下記原稿提出先までお送りください。
- ・発表申込・原稿提出先：三宅新二先生宛てにメール添付でご提出ください (s-miyake@ous.ac.jp)

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023年1月23日に、JSiSEのWebサイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなったWebサイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



X (Twitter) アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2023年9月26日現在、フォロワー数 268 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2023年9月26日現在、いいね 567 件、616 人フォロー

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援：「第34回教育・学習支援システム若手の会」

日時：2023年10月27日（金）～29日（日）

場所：関西大学 高岳館（セミナーハウス）

後援「オンラインラーニングフォーラム 2023」

日時：2023年11月1日（水）～2日（木）および7日（火）～10日（金）

会場：オンライン開催

協賛：「国際共同研究シンポジウム」

日時：2023年11月14日（火）13時00分～16時00分

会場：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館 稲盛ホール（ハイブリッド開催）

協賛「第25回日本感性工学会大会」

日時：2023年11月20日（月）～22日（水）

会場：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

後援「国際会議 ICCE2023」

日時：2023年12月4日（月）～8日（金）

会場：くにびきメッセ国際会議場（島根県松江市）

共催：「第18回医療系eラーニング全国交流会年次大会」

日時：2023年12月16日（土）～12月17日（日）

会場：中村学園大学（ハイブリッド開催）



国際会議のご案内

- 2023年10月開催

EDUCAUSE 2023

開催期間 : October 9-12, 2023

開催地 : Chicago, Illinois

開催期間 : October 18-19, 2023

開催地 : Online

URL: <https://events.educause.edu/annual-conference>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023年11月開催

2023 Open Education Conference

開催期間 : November 7-9, 2023

開催地 : Online

URL: <https://openeducationconference.org/2023/>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023年12月開催

ICCE2023: The 31st International Conference on Computers in Education

開催期間 : December 4-8, 2023

開催地 : Matsue, Shimane

URL: <https://eds.let.media.kyoto-u.ac.jp/ICCE2023/>

投稿締切 : May 1, 2023

- 2024年1月開催

The 22nd Annual Hawaii International Conference on Education

開催期間 : January 3-6, 2024

開催地 : Waikoloa, Hawaii

URL: <https://hiceducation.org>

投稿締切 : August 7, 2023

- 2024年3月開催

ICIET 2024 (12th International Conference on Information and Education Technology)

開催期間 : March 18-20, 2024

開催地 : Shimonoseki, Yamaguchi

URL: <http://www.iciet.org/>

投稿締切: October 20, 2023

LAK 2024 (The 14th International Learning Analytics and Knowledge Conference)

開催期間 : March 18-22, 2024

開催地 : Kyoto, Kyoto

URL: <https://www.solaresearch.org/events/lak/lak24/>

投稿締切: October 2, 2023



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2023年7月22日～2023年9月22日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
近藤 裕子	学生会員 (購読)	岡本 陸	学生会員
松田 暁洋	学生会員 (購読)	和田 誠	正会員
浜 正樹	正会員	隅谷 孝洋	正会員 (購読)
永山 忍	正会員 (購読)	高木 優斗	学生会員
裏 和宏	正会員	佐々木 極昇	学生会員
藤本 茂雄	正会員	棟田 陽	学生会員
茂木 誠拓	学生会員	小林 伸行	正会員
松島 拓路	学生会員	野口 普子	正会員

(計 16 名)